

平成30年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立蓮沼中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ 合唱でのパート練習が全学年で実施をし、定着できるようになってきた。

(2) 課題

- ・ 口の開け方が定着せず、合唱の明るい響きがでてこない。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	平成30年度結果	平成29年度結果	平成28年度結果
第1学年	実施なし		
第2学年	実施なし	(第1学年時・実施なし)	
第3学年	実施なし	(第2学年時・実施なし)	(第1学年時・実施なし)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

関心・意欲・態度	創意工夫	表現の技能	鑑賞の能力
自己評価カードの記入は確立したが、一部授業規律が身につかない。	曲の強弱記号の表現を考えたが、意識付けができていない。	歌う声を大きく出せる生徒と、発声が不十分な生徒がいる。	音楽を感じて考えるまでに至らない。

② 第2学年

関心・意欲・態度	創意工夫	表現の技能	鑑賞の能力
演奏したり、プリントや感想を書くことはできる。意欲には個人差がある。	曲の表現を考えることはできるが、表現をどうするか定着していない。	発声はしっかりしてきた。聴いている側に歌詞や表現を伝えるまででない。	受け身になっている場合が多い。

③ 第3学年

関心・意欲・態度	創意工夫	表現の技能	鑑賞の能力
やるべきことはやろうとするが、個人差があり、クラスとしてまとまらない場面がみられる。	合唱表現を考えながらパート練習に取り組めるようになった。	発声はしっかりしてきた生徒が多い。曲の表現や歌詞をはっきり歌うことが不足している。	音楽を感じ取り、感想を書ける生徒と、義務的に書く生徒とに分かれる。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	創意工夫	表現の技能	鑑賞の能力
クラスとしての意欲を喚起する。パート練習などの自主的な活動の場を増やす。	楽譜にある音楽記号を意識させ、どのように表現するか、考えさせる。	演奏する姿勢に気をつけ、歌唱では口をきちんと開けるよう意識させる。	自分以外の人の感想も知ることにより、音楽の感じ方を深める。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	創意工夫	表現の技能	鑑賞の能力
合唱のパート練習やリコーダーの練習を自主的に取り組むことを意識させる。	音楽記号や合唱曲の歌詞の内容などをにふさわしい表現を考えさせる。	口をきちんと開けた歌い方や歌詞を明確に歌うことを身につける。	鑑賞曲の背景、成り立ちの学習を深め、音楽の良さを聴きとることを促す。

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	創意工夫	表現の技能	鑑賞の能力
自分たちで自主的に取り組み、音楽を表現する意欲をもてるよう意識させる。	記号、歌詞の内容などをどう表現するか考えさせ、聴き手に伝わることを考えさせる。	より響きのある歌唱表現ができるよう意識させ、口の開け方や姿勢を定着させる。	鑑賞曲の背景、成り立ちの学習を深め、音楽の良さを見つけることができるように指導する。